

三月四日から船迫築跡公園体験学習館で『最後の中世武士団 宇都宮氏の歴史展』が始まりました。(十一月二十六日まで。月曜日休館。入場無料。)

そこで今月から数回に分けて豊前宇都宮氏に関する史跡や史料を紹介いたします。第一回は廣峯神社です。

廣峯神社は小山田の広域農道北側の高台に位置する神社です。

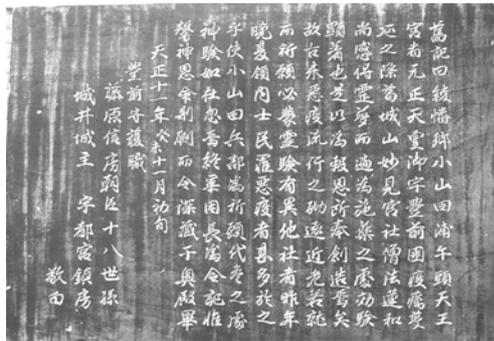
神社の改修工事の際に発見された縁起板によると、天暦元年(九四七年)、播磨国より廣峯の天王(午頭天王)を勧請し創建されたといわれ、応永元年(一三九四年)、小山田兵部丞により社殿の修築が行われたと記載されています。午頭天王は災厄や疫病から民衆を守る神様で、小山田の廣峯神社が創建された天暦年間も全国的に疱瘡等の疫病が大流行した年に当たっています。

さて、この廣峯神社には天正十一年(一五八三年)に宇都宮鎮房が領内に疫病が蔓延したため、その厄除け祈願のために奉納したと言いつた額が保管されています。

額には天正十年晩夏、領内で悪疫(疫病)が流行した折、小山田兵部を廣峯神社に代参させ祈願した所、忍ちその効果があつて疫病が治まっ

たため、その神恩に感謝の意味を込めて額を刻み奥殿深くに収めるものであると記載されています。

宇都宮氏の歴史展ではこの宇都宮鎮房奉納額の複製品をご覧いただけます。



▲額はクスノキ材に陰刻され、文字部分に白い顔料が塗られています。(実物は町指定文化財)

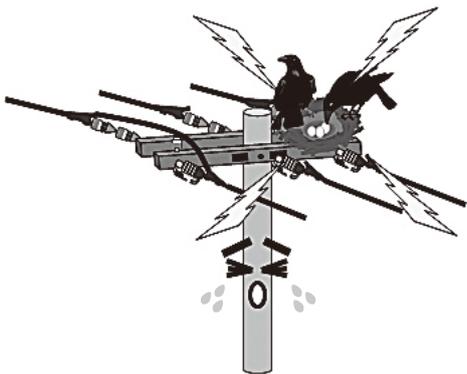
なお、広報一月号の本欄で紹介した黒田官兵衛氏の祖父「黒田重隆」は兵庫東姫路市にある廣峯神社の御師(おし)が配る神符(おふだ)と共に黒田家秘伝の目薬を売って財を蓄え、黒田家発展の基礎を築いたと言われていますが、小山田の廣峯神社の創建が黒田氏と直接関わりがあるかどうかは、資料などがなく、定かではありません。

(文化財保護係 馬場克幸)

## 第18回ふるさとイベント大賞 激励賞受賞

「ふるさとイベント大賞」は、日本各地で開催される個性を活かしたイベントの中で特に優れたものを表彰し、地域の魅力を高め、発展・活性化を促すことを目的として贈られる賞です。

京築では福岡県とともに32団体ある神楽を、地域の誇るべき財産として内外に広く発信しています。京築地域の7市町が連携して地域資源を活かし、伝統文化の継承のため様々な企画を行っていることが評価され、この度、毎年秋に開催される「京築神楽の里フェスティバル」が、激励賞を受賞しました。



### 九州電力からのお願い

カラスや、カラスの巣が高圧線に接触すると、停電の原因になります。

皆さまのお住まいの地域で、電柱にカラスの巣を見かけたら、最寄の九州電力までお電話ください。停電事故の未然防止にご協力をお願いします。

九州電力(株)行橋営業所

0120-986-103

